

分科会活動中間発表会 エキヒガシ まちづくり メッセージ ～2011～

2 これまでの「まちづくり懇話会」

仙台駅東第二地区の**市民協働によるまちづくり**を推進するために平成22年4月から発足した「まちづくり懇話会」。

仙台駅東第二地区に関係する地元団体等からなるこの懇話会では、当地区のまちづくりについて、多くのご意見や街の課題があげられてきました！

まちづくり懇話会の目的と位置付け

【目的】

地区の課題やその解決策などについて意見交換を重ねながら、協働によるまちづくりを推進し、市の施策や地元事業活動などの検討及び実施につなげていくことを目的とします。

【位置づけ】

まちづくりに関わることについて幅広く意見を出し合う場とします。

また、意思決定をするのではなく、会で集約された意見を尊重し、今後のまちづくりに活かします。

仙台駅東第二地区の位置



1 目指せ！市民協働のまちづくり！！

仙台駅東第二地区は、区画整理により道路などの整備が完了に近づくとともに、マンションや店舗などの新たな土地利用が本格的に進んでいます。

また、仙台市では「仙台駅東第二地区計画」を決定し、魅力あるまちの形成を目標とした地区の整備方針を定めるとともに、「鉄砲町通り地区」には、建物の用途制限などを定める「地区整備計画」をあわせて決定するなど、まちづくりのルール化も進められています。

このような中、今後は道路などの整備やまちづくりのルール化のみならず、地域の課題を見出し、**生活環境の向上や新たな賑わい創出**など幅広いテーマについて、地元町内会やまちづくり団体など皆様のご意見やご提案を頂きながら、**協働によるまちづくり**を進めるため、懇話会を開催することとなりました。



3 『分科会』で、いよいよ始動！！

まちづくり懇話会で検討・選定しましたテーマについて様々な視点から意見交換を重ねるために、より多くの方が参加できる場として『分科会』が発足しました。

分科会では、企画市民局用地（南東角地）の利活用方法など**具体的な検討テーマ**について、より幅広い観点から色々のご意見・ご提案を頂くために、**3つの視点**を設定し、それぞれについて意見交換等を進めながら内容を深く掘り下げ、最終的に**地域の提言**として取りまとめる作業を行って来ました。

『分科会』の役割

『分科会』

幅広い観点から検討を進めるための開かれた場

目標・課題の投げかけ

地域の提言・アイデア
(エキヒガシまちづくりメッセージ)
仙台駅東第二地区が目指す市民協働のまちづくり像

まちづくり懇話会

市民協働によるまちづくりを進めるための話し合いの場

懇話会・分科会での検討スキームの全体像

一挙に公開！

まちづくり懇話会

- 【第1回懇話会】 《平成22年4月23日開催》
- 【第2回懇話会】 《平成22年6月21日開催》
- 【第3回懇話会】 《平成22年7月23日開催》

【まちづくりなどに関わる問題・課題】

- まち再生への不安
- コミュニティ再生への不安

【検討の視点】

- 視点1 / コミュニティ
- 視点2 / 暮らしやすさ
- 視点3 / にぎわい

『分科会』

【第1回分科会】 《平成22年8月25日開催》

『街のあるべき将来像を考えよう！』

- ①10年後の街を、こうしたい！
⇒将来の目標やイメージを共有することは、まちづくりの第一歩。「10年後にはこんな街にしたい！」というみなさんの想いにふさわしいキーワードを考えました！
- ②将来像に向けて、改善すべき課題を考えよう！
⇒これまでの懇話会であげられたご意見をもとに、10年後の街の将来像を実現するために解決しなければいけない課題を、3つの視点に沿って考えました！

【第2回分科会】 《平成22年9月22日開催》

『街の未来を見据えた課題の解決方法を考えよう！』

- ①将来イメージづくりのアイデア出しをしよう！
⇒将来イメージ実現へのアイデアを具体的に出しながら、「自分たちでできることは何か」「既にやっていることは何か」を考えました！
- ②街を良くするために検討すべきことを考えよう！
⇒将来イメージづくりのアイデアをもとに、街を良くするために「検討すべきこと」は何かを考えてみました！

【第3回分科会】 《平成22年10月13日開催》

『将来の目標像を実現するためのストーリーを組み立てよう！①』

⇒これまでの意見や参考事例等を見ながら、5つの戦略ごとに具体的な検討事項やまちづくりアイデアを検討しました！

【第4回分科会】 《平成22年11月5日開催》

『将来の目標像を実現するためのストーリーを組み立てよう！②』

⇒これまでの検討や意見を踏まえ、戦略チームごとにより具体的な検討・検証とイメージづくりを行いました！

【第5回分科会】 《平成22年11月25日開催》

『これまでのアイデアを検証しよう！』

⇒まだ検討されていないことや、もっと詰めたいこと、あるいは他の戦略チームと一緒に検討すべきことなどを確認・再検討し、まとめていきました！

【第6回分科会】 《平成22年12月14日開催》

『これまでの検討内容のとりまとめと、中間発表会の準備』

⇒これまで検討されてきた多くのアイデアをとりまとめ、これからの協働まちづくりの活動目標をみんなで確認しました！また、来年度、みんなで実行するまちづくりイベントなども企画しました！

【第7回分科会】 《平成23年1月19日開催》

『分科会活動中間発表会「エキヒガシまちづくりメッセージ2011」』

4

市民協働のまちづくりを推進するための将来像と3つの目標、5つの戦略

まちづくりの将来像

懇話会・分科会では、仙台駅東第二地区の個性や魅力を最大限に活かしながら、市街地にふさわしい生活環境の形成と、仙台駅近接というポテンシャルの高さを活かした新たなにぎわいの創出を実現することを目指し、『まちづくりの将来像』を掲げました！

輝く個性と魅力！
暮らしやすく
活気あふれる街

将来像を実現するための3つの目標

さらに、将来像を実現するために、「コミュニティ」「暮らしやすさ」「にぎわい」の3つの視点で将来像の具体的なイメージを掘り下げ、3つの目標を掲げました！！

目標1
街を愛し
街を育むことで
誰もが
『コミュニティ』
を伝えられるまち

街を好きになることが、まちづくりの第1歩！この街のままさまざまな拠点や公園なども舞台にしながら、日常を豊かにするまちづくりを目指します！

目標2
人がつながり
交流を育むことで
誰もが
『暮らしやすさ』
を感じられるまち

こんな時代だから、人のつながりを大切にしたい！人と人のつながりの中で、誰もが気持ちよく安心して暮らせるまちづくりを目指します！

目標3
「個性」を活かし
活力を育むことで
誰もが
『にぎわい』
を体感できるまち

この街ならではの「きらりと光る個性」を活かすことで、商う人が誇りを持ち、街が潤いにぎわいのあまるまちづくりを目指します！

3つの目標を実現するための5つのまちづくり戦略

そして、3つの目標を具体化するために、5つのまちづくり戦略を立て、それぞれの観点から具体的なまちづくりの方向性を検討してきました！

子どもからお年寄りまで、誰もがイキイキ！

みんなの！交流拠点戦略

仙台駅東第二地区には、住まう人・商う人・訪れる人の交流の拠点となる場がいっぱい！それぞれの役割を連携させながら、魅力的な交流を創出するための方針を考えました！

みどりいっぱい、花いっぱい！杜の都の環境タウン！

街なかグリーングリーン戦略

地区内には、10ヶ所の公園があります。新しい都市景観を創出しながら、みんなの想いがぎゅっと詰まった公園計画とそのつながりを実現するための方針を考えました！

さあ、サステナブルに育てよう！

まちをプロモーション戦略

この街の個性と魅力をしっかりと活かしながら、新たなにぎわいや持続的なまちづくりを実行するための方針を考えました！

世代を超えてつながる街へ！

歴史を伝えよう！戦略

この街には、次の世代、次の次の世代まで伝えていきたい歴史や資源がいっぱいあります！それらをまちづくりの中で活かし、伝承していくための方針を考えました！

連続したにぎわいで、はじまるはじまる活性化！

街なかストリート戦略

住まう人・商う人・訪れる人みんなが楽しくなれる街を目指したい！そんな想いを実現するために、この街の資源である「通り」を活かしたイメージづくりの方針を考えました！

こどもからお年寄りまで、誰もがイキイキ！



みんなの！交流拠点戦略

仙台駅東第二地区には、住まう人・商う人・訪れる人の交流の拠点となる場がいっぱい！それぞれの役割を連携させながら、魅力的な交流を創出するための方針を考えました！

検討の流れ

様々な施設が望まれている

- ・スーパー
- ・保育園
- ・コミュニティセンター
- ・病院
- ・老人福祉センター
- など

でも、交流の場が不足している！！

- ・町内会活動がなくなってきている（交流場所がない）
- ・中央市民センターは使いづらい（予約が取れない）
- ・地域で使えるコミュニティセンターが必要

交流の場では、**仙台駅東第二地区**ならではの“コト”をしたい

- ・お祭りやイベント（産地直売、いも煮会など）ができる場
- ・求心力のある場
- ・（仮称）アバンパノこどもミュージアムを巻き込んだ交流
- ・病院などの特定の人が集まるものではない交流にならない



地区内および周辺には、交流の場として活用できる**様々な施設**がある

- ・公園
- ・神社
- ・道路
- ・児童館
- ・学校
- ・市民センター
- ・福祉施設
- ・図書館
- ・体育館
- ・企画調整局用地

交流のかたちにあわせて、各交流の場で役割分担や連携をしよう！！

- ・企画調整局用地は、産直市やお祭りなどで利用できる『多目的広場』や、集会などで利用できる『多目的ホール』がいいね！！
- ・「月木は〇〇公園、火金は企画調整局用地で産直市」のようにぐるぐると！
- ・お祭りは、神社、公園、企画調整局用地で連携して！

戦略のコンセプト

・この街にある様々な“拠点”を活かしていくために、場所ごとに役割を分担・連携し、この街ならではの“コト”ができる交流の場づくりを進めていきます！！



キャスト

- ・佐藤 吉彦・八嶋 敏郎
- ・永野 六郎・分田 美智子
- ・島山 潤・阿部 康則
- ・本田 隆夫

今後の検討事項・実行計画

- ・企画調整局用地では、エキヒガシでしかできない“コト”で暫定利用しながら、『多目的広場』や『多目的ホール』の規模や利用方法を早急に検討していきます！！
- ・イベント等により、公園と企画調整局用地、神社と企画調整局用地など、各交流の場の連携について検討していきます！！

課題は…

- ・各町内会や地域の方々に情報を公表しながら理解を頂くことが重要です。
- ・“リーダー”が必要ですが、ボランティアでは限界があります。
- ・まちづくり活動を実現させるための財源の確保が必要となります。

みどりいっぱい、花いっぱい！杜の都の環境タウン！



街なかグリーングリーン戦略

地区内には、10ヶ所の公園があります。新しい都市景観を創出しながら、みんなの思いがぎゅっしり詰まった公園計画とそのつながりを実現するための方針を考えました！

検討の流れ

みどりの回遊性（ネットワーク）が必要！！

- ・公園をネットワーク化
- ・回遊性やネットワークを生み、歩いて楽しめる街

地区内を街路樹・屋上緑化・公園でつなぎたい！！

- ・四季を感じる街路樹（桜並木、金木犀、実のなる木など）や屋上緑化
- ・X橋の高架下を自転車の拠点にする（公園→球場→駅→公園）

巡りたくなるような特徴のある公園にしよう！！

- 公園は、
- ・防災面に配慮
 - ・環境活動ができる場
 - ・交流を促す場

- ・雨水や地下水の循環利用
- ・ゴミステーション（ごみ置き場）、落ち葉ステーション（落ち葉置き場）が日常の交流拠点となる
- ・地震への備えや、防災機能（トイレ）が必要
- ・安全性確保のために灯りを
- ・収穫祭が出来る畑（コミュニケーションが生まれる）

公園を利用する人たちの意見を聞こう

- ・公園ごとに整備内容を検討するワークショップをしたい
- ・実際に公園を利用する人たち（小学生や中学生、PTA、近隣住民等）による検討

各公園の『位置づけ』や『使われ方』を検討しよう！！

戦略のコンセプト

・環境活動・防災活動を通じた交流を大切にしながら、特色があり利用者に愛される公園づくりを進めていきます！！

1号公園・2号公園

「災害時の防災拠点」
 ・仙台駅東口の顔となり、若者を対象としたスポーツパークやコミュニティサイクルの拠点にしよう！
 ・災害時には防災拠点になるように！

4号公園

「多世代交流の場」
 子育てママを対象に、（仮称）アンパンマン子どもミュージアムとの連携した子ども中心の公園にしよう！

6号公園

「懐かしい公園」
 神社との連携してお祭りや縁日ができ、孫と過ごせる様な大人の公園にしよう！

・歴史資源を活かして、回遊性を創出しよう！

7号公園・8号公園

「まちなか冒険公園」
 7号公園
 ・高低差やL型を活かし、NPOアラスカの裏の公園と連携したアスレチックの様な公園にしよう！
 8号公園
 ・草木（ハープなどの葉がする）や土を活かした遊び（バッタや鈴虫がいるような）ができる公園にしよう！

3号公園

「ランチパーク」
 サラリーマンなどオフィス利用者がお弁当を食べれる公園にしよう！

5号公園

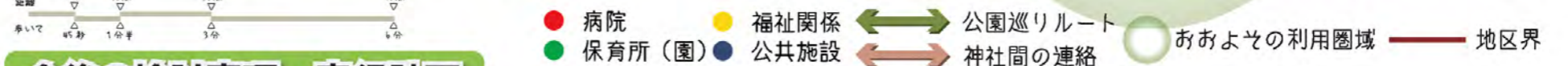
「ちひっこ公園」
 ・小さな子どもが遊べる遊具のある公園にしよう！
 ・小学校の先生、子どもたちとワークショップを開いて意見を聞こう！

9号公園

「屋台公園」
 ・榴岡天満宮のお祭りを開催したり、屋台でKスタから人を呼び込みよう！
 ・町内会とNPOと一緒に花壇の管理をしよう！

10号公園

「サラリーマン公園」
 サラリーマンがベンチで休憩をしやすい公園にしよう！



今後の検討事項・実行計画

- ・『巡りたくなる公園』『緑豊かな、街なかのオアシス』『身近な公園』の3つを公園づくりの方針として、各公園ごとにワークショップを実施し、具体的な整備計画を検討していきます！！
- ・まずは、住民ができてそうな公園をつくってみます！！

課題は...

- ・ワークショップの方法、主催者、参加者を決める必要があります。
- ・整備された後の公園の管理について検討する必要があります。



- キャスト
- ・大場 陽子・我妻 泰信
 - ・小林 武夫・渡辺 昭男
 - ・林 邦子・安達 正則
 - ・本郷 誠・阿部 裕美
 - ・柳谷 理紗





さあ、サステナブルに育てよう！

まちをプロモーション戦略

この街の個性と魅力をしっかりと活かしながら、新たなにぎわいや持続的なまちづくりを実行するための方針を考えました！

検討の流れ

まちづくりの方向性が見えない

- ・ワークショップの持続が必要
- ・様々なイベントは実施している（産直市、宮城野通りのセタやすずめ踊り、榴岡小学校による子どもみこし、神社のお祭り、花見）
- ・地域の組織がよく分からない

まずは、今のまちの状況を把握しよう！！

強みは、『現在実施されている多彩なイベント』

強みは活かそう！

- ・更なるイベントの実施
[神様（神社）を巡るジョギング、エキヒガシマルシェ（市場）など]
- ・まちを歩いてもらう仕組みづくり
[まちづくりサインをつくる、東口版コミュニティサイクル]

弱みは、『外への情報発信不足』

弱みを克服しよう！

- 弱みを克服するには、
・まち全体のプロモーションと具体的な検討
- ・分科会や懇話会の検討内容を発表

イベントやまちのイメージづくり（VI）により、まちをPRしていこう！！

仙台駅東第三地区の様々な活動や、今後取り組みたいことを、多くの市民に発表しよう！！

- ・せんだいメディアテークにて中間発表会

企画調整局用地を暫定利用した季節ごとのイベントの実験を検討しよう！！

- ・エキヒガシマルパザール
- ・お祭り（夏の陣、冬の陣）
- ・ジャズフェス

イベントや運営組織を具体的に検討しよう！！

戦略のコンセプト

・この街の魅力や個性をアピールしながら、「企画力・実行力・持続力」のある協働まちづくりを進めていきます！！



今後の検討事項・実行計画

- ・鉄砲町通りや6号公園、（仮称）名掛丁藤村広場での7月のイベント開催に向けた準備を進めていきます！！
課題は... ボランティアによる協力やイベントを実施するための資金調達が必要となります。
- ・まちの運営組織に先立ち、各戦略代表者（1～2名）による「イベント実行チーム」や「まちづくり協議会立ち上げ検討チーム」をつくります！！
課題は... 各団体の活動状況を把握する必要があります。

キャスト

- ・及川 陽子・西井 俊正
- ・小野 徳一・野原 昌之
- ・小原 夫美雄・松木 孝
- ・葛岡 貞典・伊藤 伸也
- ・高橋 陸郎

世代を超えてつなげる街へ！



歴史を伝えよう！戦略

この街には、次の世代、次の次の世代まで伝えていきたい歴史や資源がいっぱいあります！それらをまちづくりの中で活かし、伝承していくための方針を考えました！

検討の流れ

町名や神社などの歴史あるものを残したい！！

- ・町名が消えてしまう
- ・かつては職人の町だった
- ・神社仏閣は残したい
- ・車町地蔵尊の復興

でも、町名や神社などの歴史を知らない人が多い

- ・地区内の住民の7割が外から移り住んできた人たち
- ・自分の住んでいる町名を知ってほしい

町名や神社の由来を調べ、歴史マップをつくって地区内の歴史資源をPRしよう！！

- ・歴史マップは戦後の駅東第二地区を紹介
- ・町名や神社、通りの由来を紹介
- ・写真で昔の風景を紹介
- ・住民に配布したり、小学校での教材として利用
- ・歴史マップだけではなく、辻標や石碑（説明書き）の設置もPRのひとつ
- ・神社まつりもおもしろい
- ・伊達武将隊の活用も考えよう

町名は地域の財産であり、町名を残すことで、歴史を後世に伝えよう！！

- ・仙台の魅力の一つが歴史ある町名
- ・旧町名を失った人たちは後悔している
- ・通り名は“通称”として残す

新しい町名や区割りは、各町内会の意向を重視し、懇話会にて検討しよう！！

- 分科会案
- ・元寺小路
 - ・車町
 - ・名掛丁
 - ・鉄砲町
 - ・二十人町
 - ・榴ヶ岡



キャスト

- ・伊藤 典子・佐藤 好弘
- ・梅津 恵一・渋谷 範子
- ・佐々木 久美子・菅原 章
- ・佐藤 正実・三井 悦弘

戦略のコンセプト

・温故知新！この街の記憶を次世代まで継承するための仕組みづくりを進めていきます！！



今後の検討事項・実行計画

・歴史資源（町名、通り名、神社）をPRする歴史マップの配布に向け、歴史に詳しい人や学識経験者の視点から再検討していきます！！

課題は…

歴史マップ作成費の確保が必要になります。

・新しい町名や町境の検討時期は、まさに“今”であり、分科会の案をもとに、各町内会での検討後、懇話会で検討していきます！！

課題は…

地元の合意形成の方法を検討する必要があります。

連続したにぎわいで、はじまるはじまる活性化！

まちなかストリート戦略

住まう人・商う人・訪れる人みんなが楽しくなれた街を目指したい！そんな想いを実現するために、この街の資源である「通り」を活かしたイメージづくりの方針を考えました！

検討の流れ

**駅周辺の回遊性を高めたい！
通りどうしの連続性が大事！**

- ・歩いて楽しい通りに（東ブラ）
- ・神社をまわりながら買い物
- ・継続的なお祭りで盛り上がるまち

まずは、各通りの位置づけを考えよう！！

鉄砲町通りは、『商店街』

- ・(仮称)アンパンマンこどもミュージアムが立地
- ・運営者と地域による協力
- ・商店街づくり
- ・継続的なイベントの開催
- ・建物の1階を店舗にするルールが必要
- ・商店街再生のためには商工会などの組織化が必須

二十人町通りは、『まちの骨格』

- ・地区外と結ばれる骨格軸
- ・事業者のまちづくりへの参加
- ・商店、事務所、宿泊施設などが並ぶ調和のとれた街なみ
- ・一昨年度の検討内容をルール化(地区計画)

名掛丁から天満宮までの通りは、『駅からのメインゲート』

- ・来街者の玄関口
- ・天満宮への参拝客が利用
- ・参道のイメージ
- ・来街者へのサービスを充実
- ・地区計画等のルールづくり
- ・鳥居などのシンボル施設の設置

通りでの活動が通りのイメージづくりにつながる

できることから実行しよう！！

- ・通りに愛称をつける
- ・通りでのイベントの実施（お祭り、スタンプラリー、ジャズフェス）
- ・ルールづくり など

戦略のコンセプト

・この街の特長的な「通り」の個性と魅力を活かしながら、街全体がにぎわう取り組みを進めていきます！！



今後の検討事項・実行計画

- ・各通りに愛称をつけ、イメージを実現するために、地区計画等のルールづくりを検討していきます！！
- ・にぎわいをつくるきっかけとして、神社や公園を活用した『お祭り』の復活や、『バザール』などのイベントを実現していきます！！

課題は...

商工会や商店会など新たな組織の設立が必要となります



キャスト

- ・佐藤 亀二・福来 正治
- ・佐藤 茂・三浦 信尋
- ・佐藤 仁子・早坂 佳高
- ・橋浦 俊夫

5

5つの戦略から見た！ まちづくりアイデアの関係性

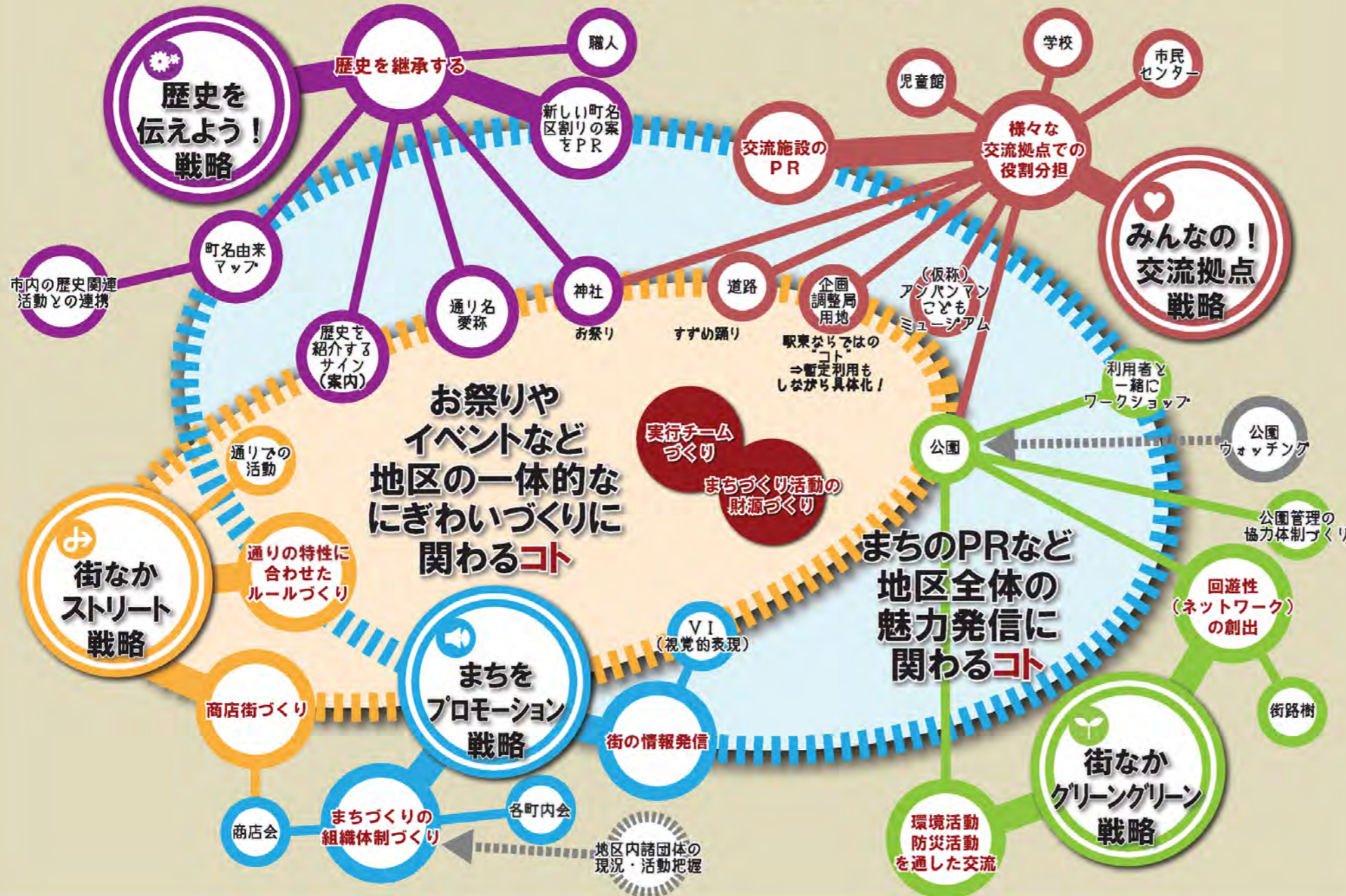
3つの目標を実現するための5つのまちづくり戦略は、それぞれが独立して推進されるものではありません。将来像を目指した中で、**5つの戦略がしっかりと関係性を持っていることが重要**であり、それが「何か」を解き明かしていくことで、市民協働のまちづくり活動として優先して取り組むべき課題や近い将来の活動展開が見えてきます。

ここでは、それぞれの戦略から出された**まちづくりアイデアを相関図として整理**することで、今後の協働まちづくりの取組みの方向性や共通項目を見出し、**具体的な実行計画**を整理しました！

戦略ごとの検討プロセス

- 1 5つの戦略チームごとに、まちづくりのアイデア出し
- 2 それぞれのアイデアの実現方法の検討と課題の抽出
- 3 戦略チーム間で、アイデアの提案や意見交換をしっかりと！
- 4 戦略ごとの方向性とアイデアを整理・分類・分析
- 5 共通項目のうち、すぐにみんなで出来ることを実行へ！

5つの戦略から見てきた協働まちづくり**アイデア**の相関図



2011年の協働まちづくり活動目標

3つの

3つの活動目標

仙台駅東第二地区まちづくり懇話会・分科会では、5つの戦略から出されたアイデアをもとに、**2011年の協働まちづくり**を具体的に実行するための**3つの活動目標**を掲げます！

活動目標 その1 継続は力なり！懇話会・分科会活動を継続・発展させ、さらに『地域力』を高めます！！

まちづくりは、一朝一夕にはできあがりません。地域課題をしっかりと検討し、時間をかけ、より多くの方と様々な取り組みをしながら、駅東第二地区ならではのまちづくりを進めていきます！

活動目標 その2 具体的な活動を、できることから実行し、どんどん街の魅力を発信します！！

各戦略から提案されてきたまちづくりアイデアを、できることから実行し、地域力の醸成と魅力を高め、市民のみなさんに発信していきます！

みんなで実行！具体的なまちづくり活動案

- ① イベントの企画・実行！
⇒ 地域に根付きつつある産直市場や、にぎわいを創出するバザールなどの開催と運営
- ② イベント実施に向けた実行チームで検討！
⇒ イベントの実行チームを編成し、実現化！！

活動目標 その3 ただ続けるのではなく、いかに続けるか。持続的なまちづくり体制の構築を目指します！

区画整理事業完了後も持続的なまちづくりを進めていくために、いろいろな地元団体と協力体制をとりながら行動できる体制づくりを考えていきます！

協働まちづくり体制のイメージ

- ① 『まちづくり協議会』設立を目指します！
⇒ まちづくりをしっかりと行っていくための組織体制づくりを進めます！
- ② いろいろな方々との協力体制を！
⇒ お住まいの方も含め、多くの方々と協力しながら、より一層まちづくりの輪を広げます！

仙台駅東第二地区まちづくり懇話会 & 分科会 エキヒガシまちづくり メッセージ ~ 2011 ~

『エキヒガシまちづくりメッセージ』とは・・・
「えっ！エキヒガシまちづくりメッセージって、何？」と、みなさんお思いですか？
『エキヒガシまちづくりメッセージ』とは、2010年のまちづくり懇話会・分科会で、この街に関わり、この街を愛するみんなで、共に考え、共に悩み、共に作り上げてきた『街への想い』です。
ここには、みんなの想いと決意がぎゅっ詰まっています。
そこで、街への想いや決意を多くの方にお伝えすることで、これからの「仙台駅東第二地区」をわくわく楽しみにして頂きたい！という想いから、協働まちづくりの中間発表として『メッセージ』を発信するに至りました。
さあ、みなさん！これからのエキヒガシに、乞うご期待！！

勝手に

仙台駅東第二地区 未来希望図2011!!

三社祭り 5月3日~5日
I札ガシ祭り 夏の陣: 8月
冬の陣: 1月

● 通りに愛称をつける
◆ 地区内の主要な通りに愛称をつけよう!!

● 交流拠点
◆ 様々な拠点の役割を補う、多目的に活用できる拠点にしたい!!
◆ 産直市やお祭りなどで利用できる『多目的広場』と集会などで利用できる『多目的ホール』がいいな!!
◆ 暫定利用して、季節ごとにイベントを実施しよう!!

まちをプロモーション戦略

- 鉄砲町通りや6号公園、(仮称)名掛丁藤村広場での7月のイベント開催に向けた準備を進めていきます!!
- まちの運営組織に先立ち、各戦略代表者(1~2名)による「イベント実行チーム」や「まちづくり協議会立ち上げ検討チーム」をつくりまます!!

まちなかグリーン戦略

- 『巡りたくなる公園』『緑豊かな、街なかのオアシス』『身近な公園』の3つを公園づくりの方針として、各公園ごとにワークショップを実施し、具体的な整備計画を検討していきます!!
- まずは、住民ができそうな公園をつくってみます!!

商店街づくり

- ◆ (仮称)アンパンマンこどもミュージアム運営者との協働体制をつくらう!!
- ◆ 神社を中心としたお祭りの早期開催しよう!!

歴史を活かした回遊性

まちの骨格となる通りづくり

- ◆ まちなみのルールをつくらう!!
- ・ 屋外広告物は生活に必要なものにし、景観に配慮
- ・ 建物の色や形などは、地域の街並みに配慮
- ・ 垣や柵は、周囲の環境と調和を図る

地区の顔(来街者の玄関口)

仙台駅西口から

参道をイメージした通りづくり

- ◆ まちなみのルールをつくらう!!
- ・ 用途規制(1Fを店舗に)
- ・ 屋外広告物(統一されたイメージ)
- ・ 建物の外観(色や素材など)
- ・ 植栽(沿道部緑化(桜など))

町名を残す

- ◆ 町名は地域の財産であり、町名を残すことで、歴史を後世に伝えよう!!

歴史を伝えよう!戦略

- 歴史資源(町名、通り名、神社)をPRする歴史マップの配布に向け、歴史に詳しい人や学識経験者の視点から再検討していきます!!
- 新しい町名や町境の検討時期は、まさに“今”であり、分科会の案をもとに、各町内会での検討後、懇話会で検討していきます!!

まちなかストリート戦略

- 各通りに愛称をつけ、イメージを実現するために、地区計画等のルールづくりを検討していきます!!
- にぎわいをつくるきっかけとして、神社や公園を活用した『お祭り』の復活や、『パサール』などのイベントを実現していきます!!

